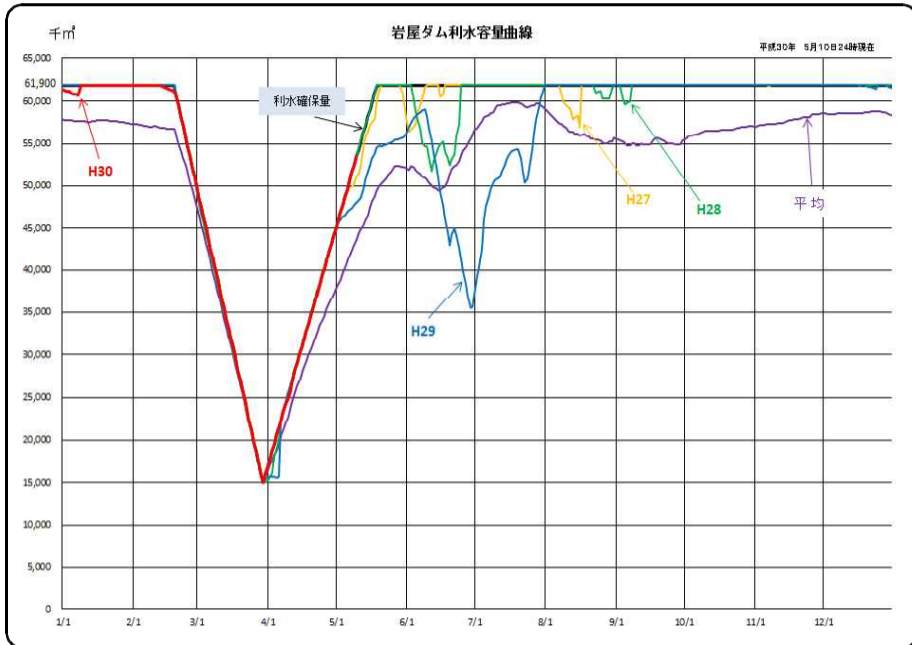


## 岩屋ダム利水貯水量 5,345万8千ト (利水確保容量比100%) (5月10日現在)

今年のゴールデンウィークは如何お過ごしでしたか。前半は晴れた日が多く、気温も平年より高目だったため、体が暑さに慣れるのに大変だったのでは。5月2日は、低気圧や前線の影響で天気は崩れましたが、翌日以降から後半にかけては時折雲が広がったものの過ごしやすい陽気となり、田お越し、代掻き、田植え、野菜苗の植え替えなどお忙しい日々を過ごされた方も多いと思います。

さて、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、5月10日現在、5,345万8千トンとVカット運用における利水確保容量に対し100%の利水を確保しています。4月降雨量が平年を大きく上回る(平年比173%)状況となったため、3月末まで発電運用により貯水位が低下していた岩屋ダムの貯水率は、これまでのところ順調に回復しています。



こうした中、気象庁からも公表されていますが、全国でこの30年間で時間50ミリを超える降水量の年間発生件数は、1976~1985年の平均174回から、2008~2017年では平均238回へと約1.4倍に増加しています。私たちは豪雨や湯水に対する平常時の備えや施設の管理方法について、この時期、もう一度、よく考えておく必要がありますね。

一方、農業用水取水量は、5月10日現在、210万トンで過去3年の平均取水量より11万トン程少なくなっています。

これから水稻の普通植えが本格的になると水の需要が急増いたします。しかし右岸用水における農水の年間総取水量は4,190万トンと定められています。そのため河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただくとともに、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力をお願いします。

(注) 岩屋ダムでは、通年2月20日から5月20日の間は、発電を主体とした放流を行い、3月末に向けて一時的に貯水池容量を低下させ上昇させる運用をしています。貯水池容量のグラフがアルファベットの「V」字になっていることから、Vカット運用とされています。

### ◇『早期中干し』実施にご協力を!◇

『中干し』は過剰分けつを抑え丈夫な稲作りに大切な作業です。毎年、この時期にあわせ右岸用水を計画的且つ安定的に利用するよう『中干し節水』による水管理を行っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

早植え田	5/21~5/25 (5日間)	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
	5/25~5/29 (5日間)	川辺町
普通植え田	6/8~6/12 (5日間)	坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
	6/12~6/16 (5日間)	美濃加茂市
	6/25~6/29 (5日間)	川辺町

(注) 一部の地区において区配布ピラと日程の相違がある場合は、区配布ピラの日程で実施して頂きますようお願いいたします。

### 田植えシーズンの到来です!!



### ◇岩屋ダム洪水吐ゲート整備完了間近◇

岩屋ダムでは、洪水吐ゲート2門の整備工事を行っています。ゲートの大きさは、それぞれ高さ18.3m、幅10.9mで、同一形式のものでは日本で2番目の大きさの面積となります。ゲート1門の重量は375トンあります。すでに1号ゲートの整備を終え、現在、2号ゲートのイコライザと呼ばれる機器(ゲートのバランスをとる機器)を取り外し、工場整備を行っているところです。5月中には2号ゲートの整備を完了し、降雨が多くなる季節を万全の体制で迎える予定です。



### ◇白川取水施設で水質改善を目的にフラッシング操作を実施◇

4月24日、水資源機構木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所では、白川取水口ゲート及び水路途中の3箇所の水位調節堰ゲートでフラッシング操作を実施しました。

フラッシング操作とは、白川取水施設の非常用ゲートと調整用ゲートの開閉操作による増減操作を数回繰り返すことで白川取水口部に堆積した土砂を流下させるとともに、各水位調節堰ゲートでは、増量水の到達後にゲートの開操作を行うことにより流速を上げ、ゲート上流の土砂を流下させる操作です。今回、白川取水口部に堆積した土砂の量は約6m<sup>3</sup>で、土砂の多くは途中の神淵沈砂池に溜まりました。

